



▶府中市保健センター分館（左上はキッズルーム）



## 平成17年第2回定例会 府中市市民医療センター条例の一部を改正する 条例など議案11件を審議

### 市民医療センターが 保健センターに 旧府中小金井保健所が 保健センター分館に

平成17年第2回定例会は、6月6日から6月21日までの16日間の会期で開催されました。  
市長提出議案は、府中市市民医療センター条例の一部を改正する条例など8件を審議した結果、可決6件、同意2件となりました。  
議員提出議案は、モーターボート競走法の改正及び公営企業金融公庫納付金制度の廃止を求める意見書など3件を審議し、可決されました。  
また、請願2件、陳情7件が審議されました。

談業務や健康教育業務、検診車による検診事業を充実していく予定です。

また分館には、情報を提供するスペースとして保健医療情報室、子どもの発達状況を経過観察する相談室としてキッズルーム等を設置しています。

#### 人事議案

定例会最終日の本会議に、市長から固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求める議案と、人権擁護委員候補者の推薦を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

■固定資産評価審査委員会委員  
小林 整 司 氏（67歳）  
■人権擁護委員候補者  
森岡 玲 子 氏（72歳）

#### 備議員が辞職

定例会最終日の本会議において、備 邦彦議員（市民クラブ）より、一身上の理由で辞職したいとの申出があり、許可されました。

同議員は、昭和58年に初当選し、副議長、監査委員、議会運営委員会委員長、文教・厚生各常任委員会の委員長及び基地対策特別委員会委員長を歴任しました。

#### 意見書

##### 国へ提出

◎モーターボート競走法の改正及び公営企業金融公庫納付金制度の廃止を求める意見書  
地方公営競技事業は厳しい経営を余儀なくされているが、本市でも、平成16年度では、一般会計への繰出し額より日本船舶振興会交付金の方が大きくなることが予想される。

本市議会は、政府に対し、モーターボート競走法の改正により、日本船舶振興会への、1号・2号交付金及びモーターボート競走会交付金の軽減を行うことなど2項目を要望する。

◎地方六団体改革案の早期実現に関する意見書  
地方六団体は、地方分権の理念に沿った三位一体改革を実現

すべく、改革案を提出したが、政府・与党合意の税源委議案は、多くの課題が先送りされ、真の改革とは言えない状況である。本市議会は、国会及び政府に対し、真の三位一体の改革の実現を図るため、地方六団体の改革案を踏まえた概ね3兆円規模の税源委議案を確実に実現することなど5項目を要望する。

◎地方議会制度の充実強化に関する意見書  
議会機能を十分発揮するには、解決すべき制度的課題がある。現行の地方自治法は制定後60年を経過し、議会に係る制度が実態にそぐわなくなっていることから、見直しが必要である。

本市議会は、国会及び政府に対し、地方議会の権能強化及びその活性化のため、抜本的な制度改正が図られるよう要望する。

市長から、「府中市市民医療センター条例の一部を改正する条例」についての議案が提出され、議会で審議した結果、全会一致で可決されました。  
この条例は、市民医療センター及び旧府中小金井保健所を保健センターとして整備し、市民の健康づくりを総合的かつ計画的に推進するとともに、市民の健康の保持及び増進を図るために所要の改正を行うものです。  
今回の改正では、これまでの府中市市民医療センター条例を府中市保健センター条例と改め、このたび取得した旧府中小金井保健所を府中市保健センター分館と位置付けています。更に、所掌事業においても充実した保健サービスが提供できるよう見直しを行っています。  
保健センターでは、健（検）診事業や健康増進事業、休日夜間診療を行い、分館では相